

# D-PRO135°

## 明石高専防災団

### 私たちの活動

About D-PRO135°

2015年夏、明石高専の学生たちによって防災組織 D-PRO135°（明石高専防災団）が誕生しました。1年生での必修科目「防災リテラシー」にて、防災士資格を取得した学生たちの有志が集い、「防災知識の普及や学内での防災意識の向上に貢献したい」という思いで様々な活動に取り組んでいます。現在メンバー 20 人（4年生チーム 13 人）。

## 避難所運営ゲームチャレンジ!

### ゲームの概要

About the Game

災害が発生し、自分たちの学校が避難所になったとき、仲間とどのように避難所を運営するのか。避難所運営について仲間と相談しながら考える、シミュレーションゲームです。元来、避難所の設営・運営を想定するゲームはいくつか存在しましたが、プレイは有料で地域性がなく、リアリティに欠けるという欠点がありました。それらの諸問題を解決するため、実際にある施設とそこを利用する人々を対象に、ローカルな目線でのゲーム作りに挑戦しました。また、非常時に大切な臨機応変性や現場対応力も試されるゲームとなっています。

発案：太田敏一先生 協力：鳥居宣之先生（神戸高専）

### 神戸高専におけるゲーム実施例

The event in KCCT

神戸高専 3 年生 250 名を対象とし、2 日間にわたって実施しました。1 日目は阪神淡路大震災の被災者の方から実際に話を聞き、避難所の様子について学びました。2 日目には神戸高専で避難所を運営することを想定し、1 日目に学んだ知識を用いて次々に起こるハプニングに対応しました。体験した学生からは「防災や避難所運営に興味を持つきっかけになった」「災害時、避難所を運営する側にまわりたいと感じた」といった感想をいただきました。

### ゲームの実施方法

How to Play the Game

避難所の設置とハプニングの発生という 2 つのパートで構成されます。事前に避難所の知識を得ておくことが前提となっています。

#### パート I：避難所の設置

避難所内の配置、避難所での役割分担やルールなどを考える。

#### パート II：ハプニングの発生

避難所で様々なハプニングが発生する。パート I でハプニングについて対策を考えていたらポイントを獲得できる。模範解答ではなかった場合、チャレンジすることができる。

#### チャレンジ

模範回答ではなくても、適切な対応だとポイントを獲得できる。柔軟な思考が求められる。



1日目の様子



2日目の様子

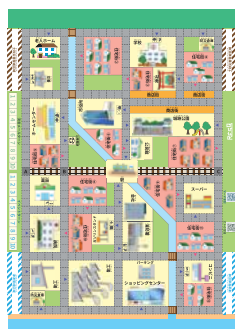


## 防災ボードゲーム RESQ

### RESQ とは

What is RESQ?

私たちは一昨年から遊びながら防災を学べるボードゲームを作成してきました。RESQ は昨年完成した「共助」を主体とした防災ボードゲームです。HP にて無料でデータを公開していますので、誰でもダウンロードすることができます。ぜひ各家庭で印刷して、遊んでみてください！



### 体験イベント

Experiential Event

昨年の RESQ 完成以降、たくさんのメディアに取り上げていただきました。また、多くの団体からお問い合わせをいただき、地域のイベントに参加して RESQ の体験会を実施しました。様々な年代の方に防災について興味を持っていただくきっかけになりました。



B-1 グランプリ in Akashi



真陽地区 RESQ 体験会

### HP

過去の活動や防災ゲームの詳細は HP に掲載しています。興味のある方はぜひご覧ください。RESQ データダウンロードはこちらへどうぞ。



<https://D-PRO135.github.io/home/>



### SNS

最新情報・お問い合わせはコチラ！



@135\_d\_pro



@d.pro135.e

